

# 第1回大野市男女共同参画推進委員会の概要

日 時 令和5年10月 4日(水)  
午後7時00分～午後8時30分  
場 所 大会議室

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 市長あいさつ

## 4. 委員の紹介

## 5. 委員長・副委員長の選出

## 6. 委員長あいさつ

## 7. 議題

### (1) 大野市男女共同参画推進委員会の役割について

### (2) 大野市男女共同参画プラン進捗状況(令和4年度実績)の概要について

委員からのおもな意見は次のとおり(○→委員、●→事務局)

○令和12年度の数値目標の設定について、数値目標の達成を目指して施策を進めていくことを考えると、もう少し詳細な数値目標を設定した方が良いのではないかと。

●男女共同参画プランの中で設定された基本目標に向けての施策を実施しており、基本目標中の重点施策の中から数値目標を設定している。

○男女共同参画プランは10年間の目標ということで、10年間に社会情勢であったり、いろいろな変化があると思われる。また、目標数値を設定しているため、数値を追うことが目的になってしまい、女性の満足度のような部分がおろそかにならないか心配だ。

●10年の長期のプランであるため、途中でアンケート調査やプランの見直しは必要だと感じている。プランの期間は第六次大野市総合計画と同じであるため、中間年での見直しについて検討していきたい。

○地域における女性リーダーの数という数値について、地域の団体で活躍されている女性というのは、数値より多いように感じている。「団体の代表」という視点ではなく、部長などといった役職を持っている方に視点を向け、活躍されている方に視点を向けた方がいいのではないかと考えている。

●今回の調査では各団体の代表者を分母として設定しており、区長会で見ると、210人の区長のうち、女性は3人となっている。ご指摘のとおり、女性リーダーというものについてどの部分の方に目を向けるかについて検討していく必要があると考えている。

○男性の育児休業の数値目標について、令和3年度に設定している目標に対して、今年度から達成率の計算方法が変わったかと思う。当初の目標数値の設定について、こういった経緯があって設定されているものなのか。

●算出の方法について、従前の算出方法は、「過去3年間で配偶者が出産し、育児休業を取得した率」であり、今年度算定したものは「当該年度に配偶者が出産し、育児休業を取得した率」である。今回の算定については、県や国の算定基準に合わせる形で算定を行った。先日国から出された「こども未来戦略方針」の中で、育児休業取得率を2030年までに85%まで上げるといった目標が設定されている。大野市の目標についても、プランの見直しに合わせて適正な目標を設定する必要があると考えている。

### (3) 令和5年度女性活躍推進セミナー等の計画について

○大野市の男女共同参画の事業において、事業費というものはどのくらいかかっているものなのか。

●男女共同参画の分野において、各課それぞれが事業に対する予算を持っており、具体的な予算については確認が必要。

○事業への参加率というものはどうしても担当課では課題となってしまう。事業に参加しない方に目を向けて、「なぜ参加してもらえないのか」に着目するのではなく、参加している方が「なぜ参加してもらえたのか」に着目することも大切。

●総務課で主催した「大野っ子ママもパパも一緒に子育て講座」のことで言えば、会場の容量の制限から定員を設定している。事業へ参加している方へのアンケート調査を実施しており、昨年度の事業では満足度が高かった。

○家事などについて、男性が「手伝う」という概念をなくして、「一緒に行くもの」という認識が育っていくことで家庭も円満になっていくと思う。委員の方々もそれぞれの団体にそうした意識を持ち帰って話してもらいたい。

## 8. その他

## 9. 閉会あいさつ